

令和5年度 第2回災害レジリエンス共創研究会セミナー

積乱雲・線状降水帯に伴う極端気象予測 ～その利活用の課題と展望～

局地的大雨や降ひょう、竜巻、落雷、さらには近年大きな注目を集めはじめた線状降水帯などの極端気象は発達した積乱雲から発生します。ひとつの積乱雲の寿命は1時間程度と短いため、その予測のリードタイム*も短く、このような予測情報はこれまであまり活用されてきませんでした。しかし、地球温暖化に伴う大雨の頻度の増加が懸念されている中、将来の気候に適応するためにはこのような予測情報を積極的に活用していく必要があります。本セミナーでは線状降水帯の観測・予測技術の開発とその予測情報の自治体における利活用の実例を通して、極端気象の予測情報の自治体・企業・個人における利活用について議論します。

*リードタイム: ある事象を予測してからその事象が発生するまでの時間

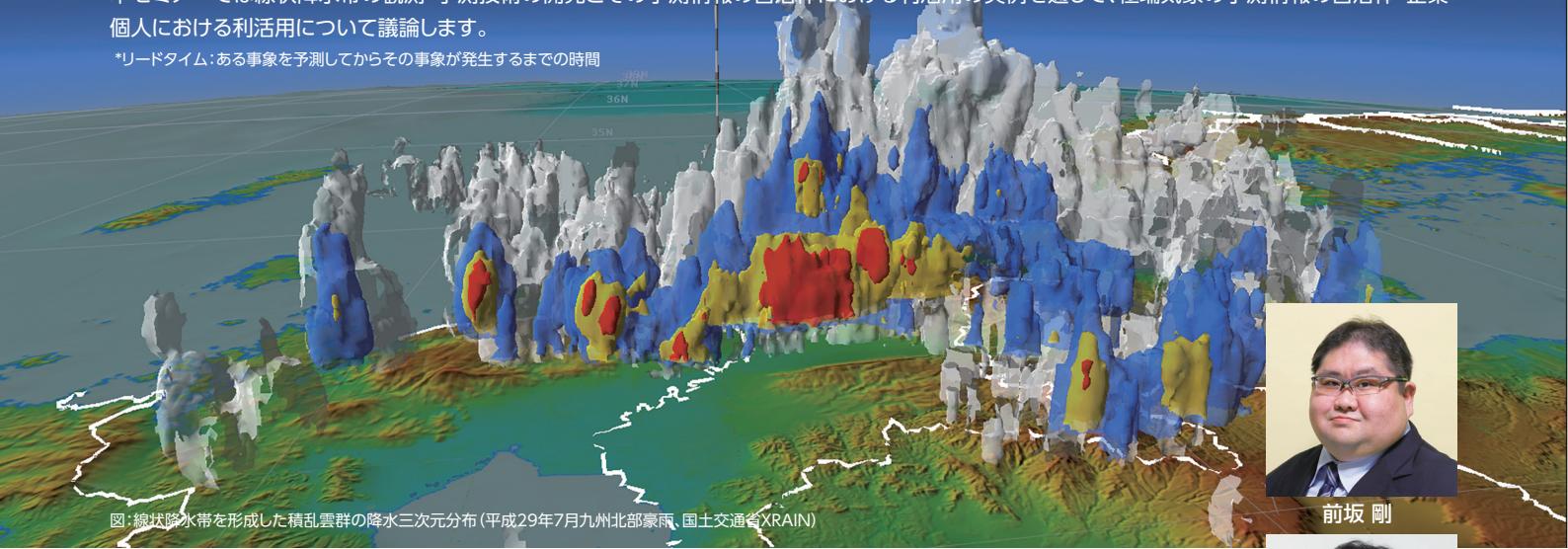


図: 線状降水帯を形成した積乱雲群の降水三次元分布 (平成29年7月九州北部豪雨、国土交通省XRAIN)



前坂 剛



清水 慎吾



増田 有俊



モデレーター: 下村 健一

プログラム (時刻は目安です)

13:30 ▶ はじめに 阿部 浩一 (防災科研 イノベーション共創本部 副本部長)

13:35 ▶ 話題提供

①「積乱雲に伴う極端気象の研究と創出される情報プロダクト」

前坂 剛 (防災科研 水・土砂防災研究部門 研究統括)

②「線状降水帯の予測情報の高度化と利活用」

清水 慎吾 (防災科研 水・土砂防災研究部門 主任研究員)

③「自治体における線状降水帯予測情報の利活用に関する社会実験」

増田 有俊 (一般財団法人 日本気象協会 技術戦略室 室長)

14:35 ▶ パネルディスカッション、参加者とのディスカッション

モデレーター

下村 健一 (令和メディア研究所 主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター)

パネリスト

前坂 剛、清水 慎吾、増田 有俊

15:25 ▶ おわりに 岩波 越 (防災科研 研究主監 / イノベーション共創本部 本部長代理)

2023 **9.26** (火) 13:30-15:30 (13:15 開場)
会場&Web (Zoom) のハイブリッド型開催

セミナー終了後、同会場にてパネリストとの「懇談会」を開催いたします。

会場 防災科研 東京会議室 〒105-0003 港区西新橋2-3-1 マークライト虎ノ門6F
お問合せ 防災科研 イノベーション共創本部共創推進室 災害レジリエンス共創研究会 事務局
E-mail: info-kyosokenkyu@bosai.go.jp

申込方法

下記URLまたは、QRコードの申込フォームからご登録ください。会場参加希望者が、定員の50名を超えた場合、Web参加でのご案内となりますことをご承ください。

<https://forms.gle/SkJRmBgGCJCPF6zd7>



申込締切: 9月22日 (金) 12時